

海況速報

平成 22 年度 第 4 号 (通算 No.136)
平成 22 年 11 月 26 日
北海道立総合研究機構 水産研究本部



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境グループ
Tel 0135-23-4020
ckaiyou@fishexp.pref.hokkaido.jp

9 月下旬～10 下旬の海況

☆日本海海域

岩内湾西方に暖水渦 (指標: 50m 層水温 14℃以上) がみられます。このため、対馬暖流 (指標: 100m 層水温 6℃以上) は暖水渦の西側を流れ、沖合の流路をとっています。また、道北の武蔵堆周辺海域にも暖水域 (指標: 100m 層水温 9℃以上) があり、対馬暖流はこの暖水域の西側を流れています。対馬暖流の流量は例年並みと推定されます。

表面水温は、ほぼ例年なみです (水温偏差表参照)。J2 線 (北緯 44° 30′) 以北では、50m 層から 100m 層にかけ、例年に比べ水温の高低が大きくなっています (水温偏差表参照)。

余市における旬平均水温は、8 月下旬から 9 月下旬にかけて「かなり高い」あるいは「非常に高い」状態でしたが、10 月下旬からは例年よりも低く推移しています。

☆道東太平洋海域

道東沖では、親潮 (指標: 水温 5℃以下) が広く覆っています。また、P1 線南端の P18 地点では黒潮系北上暖水がみられます。道東沿岸では道東沿岸流 (指標: 50m 層水温 10℃以上) が流れています。

水温は、親潮が分布している海域で例年よりも 1～3℃低く、P3 線 (東経 144° 00′) の沿岸寄りの深度 50～100m では、道東沿岸流が沖側に張り出しているため、例年よりも 2～6℃高くなっています (水温偏差表参照)。

☆オホーツク海海域

宗谷暖流がオホーツク海沿岸を順調に流れています。

水温は、表面から 50m 層を中心に例年よりも 1～8℃高くなっています (水温偏差表参照)。この高水温化は観測時期が例年よりも半月ほど早かったことが一つの要因と考えられます。気象庁ホームページの北海道周辺日本東方海域旬平均海面水温によれば、通常の定期観測の時期においてもオホーツク表層は、例年よりも高い状況でした。

☆道南太平洋海域

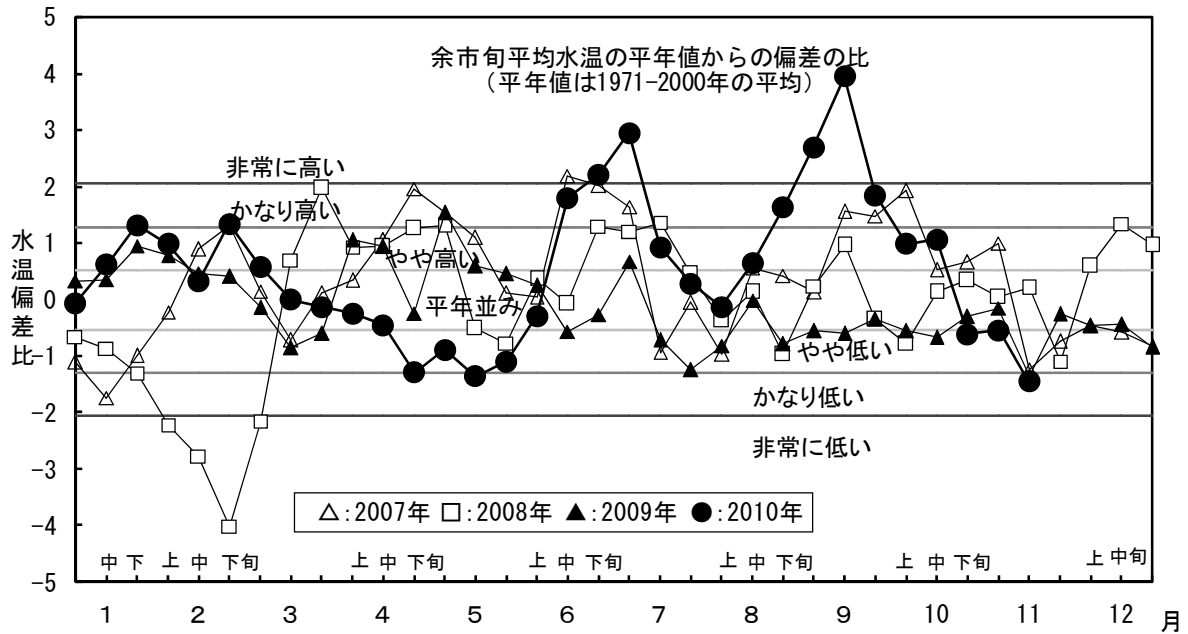
100m 層水温の水平分布から、津軽暖流はやや弱い渦モード (*1) になっています。

水温は 200m 層で、例年よりも 1～4℃低くなっています (水温偏差表参照)。

資料	観測期間	観測海域
稚内水試 (北洋丸)	2010/10/4-10/7	(道北日本海海域)
釧路水試 (北辰丸)	2010/9/13-9/15	(オホーツク海海域)
稚内水試 (北洋丸)	2010/9/27-9/28	(オホーツク海海域)
函館水試 (金星丸)	2010/9/27-10/1	(道西道南日本海海域)
函館水試 (金星丸)	2010/10/25-10/29	(道南太平洋海域)
釧路水試 (北辰丸)	2010/10/18-10/20	(道東太平洋海域)

* 1 : 津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と

呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋埼からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。



「海況速報」は中央水産試験場ホームページに掲載しております。

また、同サイトにて余市前浜水温がご覧になれます。

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/index.htm>

余市前浜水温の携帯サイトはこちらから

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/keitai/k-index.html>

右に QR コードがあります。



